

6. 重点プロジェクト

(1) 西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略との連携

本市の主要課題である「人口減少・年齢構造の不均衡・高齢化の進展・地域力の減退・担い手不足」の解決を図り、市の将来像（めざすまちのすがた）を実現するためには、事業費、物的・人的資源の重点的な投入や組織横断的な連携体制により、様々な取組を進めていくことが、必要不可欠です。

国も平成 20（2008）年に始まった人口減少による経済規模の縮小、高齢者の増加に伴う社会保障費の増加などに早急に取り組むため、平成 26（2014）年 12 月には、我が国の人口の現状と 2060 年までの将来展望を示すとともに、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、これに基づき平成 27 年度から 2019 年度までの 5 年間の目標や施策の基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、国と地方が総力を挙げて人口減少対策と経済成長力の確保に向けて取り組むことを求めました。本市においても、平成 27（2015）年 9 月に「西之表市人口ビジョン」及び「西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を策定し、総合戦略については、令和 2 年 3 月に第 2 期目を策定しました。

「西之表市人口ビジョン」では、全国でも高水準にある合計特殊出生率⁴の維持及び若年層や子育て世代の流入を生み出し、急激な人口減少に歯止めをかけるまちづくりを展開することによって人口維持を図り、2060 年の人口を 12,002 人とする展望を示し、その目標達成に向けた平成 27（2015）年度から 2019 年度までの 5 年間の取組を「西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として整理しました。第 2 期目の総合戦略は、第 1 期目の取組や社会情勢、国の総合戦略を勘案し、地方創生の取組を強く推進すべく、令和 2 年度から令和 6 年度までの取組について整理しています。

本市の主要課題である「人口減少・年齢構造の不均衡・高齢化の進展・地域力の減退・担い手不足」の解決を図るために施策を展開していくことと、「人口減少及び少子高齢化を克服し、将来にわたって活力ある社会の維持に向けた取組を進める」という地方創生の考え方は共通するものです。

そのため、本市の主要課題解決を図るための取組として、総合戦略で掲げる基本的な視点である「日本のモデルとなり得る循環型社会づくり」、「将来にわたって愛着と誇りが持てる魅力あふれるふるさとづくり」、「歴史・文化の多様性を生かした地域づくり」の 3 点とともに、総合戦略の基本目標である次の 4 つを重点推進項目として、課題解決に向けて取り組んでいきます。

⁴ 合計特殊出生率…15～49 歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの人数に相当する

なお、第2期目の総合戦略は令和6年度までの計画期間としていますが、長期振興計画と一体的に取り組むこととし、基本計画と併せて毎年度必要な見直しを行いながら継続して取組を進めていきます。

(重点推進項目)

1	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
基本的方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特性を生かした魅力ある農林業として働ける環境づくりを構築し、後継者及び新規就業者の確保を行うとともに、大学や企業との連携により、生産現場の科学的な課題解決と時代に合った新しい販売戦略を進めます。 ● 森林資源は豊富に有するものの、林産品の輸送費等のコスト面や施業に携わる人材確保の課題を抱えています。地域資源の流通活性化、地産地消の推進、関連産業の連携・強化を図り、新たな雇用の創出を図ります。 ● 水産業については自然環境の変化等により漁獲量の減少が続く中、後継者不足や漁業者の高齢化も深刻であり、操業経費の高騰による出漁意欲の減退など多くの課題を抱えています。産官学連携による漁場環境整備や流通加工販売体制の構築など産業維持のための取組を推進します。 ● 地域経済分析システム（RESAS）の活用や大学との連携により、経済の見える化を図り、島内循環・消費型の構造を検討します。特に、エネルギー分野については、豊かな自然資本等を活用した島内循環型構造への転換を目指し、経済と環境の好循環による産業力強化を図ります。 ● 本市の豊富な地域資源を活用した農林水産物の高付加価値化を目指す6次産業化に取り組み、農林水産業従事者と製造業者、U・Iターン者等で専門性のある人材を有機的に連動させる横断的な仕組みを構築し、仕事に対するやりがいや労働意欲の向上を図り、担い手の確保等の好循環を目指します。 ● 農業従事者が高齢化する中で、これからの地域の農業を担っていく世代が、効率的な農地利用やスマート農業を行うための農地の集積・集約化を進めていくため、各地域の将来方針である「人・農地プラン⁵」の実質化に基づき、関係機関と一体となって支援していきます。また、

⁵ 人・農地プラン…農業者が地域農業における中心経営体、地域における農業の将来のあり方などを明確化し、市町村により公表するもの

	<p>市農業振興公社の機能（援農隊等）を強化し、高齢農家が営農を継続できる農作業受委託体制の構築を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業の担い手については、実態の把握に努め、受入体制の整備を促進するとともに、大学生や外国人等をはじめとする交流推進策を講じつつ、本市への定着を促進します。また、外国からの人材の活用については、産業ごとの優位性について整理を行います。 ●実証研究の場として、広く大学等との連携を図ることで、将来的に学術的な研究拠点の設置や企業の研究所誘致など、市民生活に直結する課題の解決や新たな産業創出と雇用につながる取組を推進します。 ●島としての知名度や本市の特異性、優位性を発揮した取組を展開し、魅力ある雇用を創出しつつ、併せて、産官学による連携によって将来を担う人材の育成を図ります。 ●地域産業の基盤を強化し、自らが新たな展開を図るような主体性を持った事業者等を育成します。 ●企業や地域団体などの地域づくりを担う様々な組織との協働を進めます。また、若者や女性にとって魅力的なしごとづくりを行います。更に、人材育成に焦点を当てた取組を強化します。 	
関連する施策	1.快適な生活環境の整備	9.林業の振興
	3.計画的な土地利用の推進	10.水産業の振興
	7.地域力の向上	11.商工業の振興
	8.農業の振興	13.新たな産業基盤と雇用環境の整備

2	本市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校卒業後の離島率は9割を超え、「ひと」の流出に歯止めがきかない一方、各産業における担い手不足が顕著化し、産業衰退の悪循環に陥っています。産業の担い手である若年層については、大学生や外国人等をはじめとするインターンシップ⁶など雇用や起業のきっかけとなる交流推進策を講じつつ、本市への定着を促進します。 ● 種子島の産業別の就業実態、生活や地域の実態等を明らかにするとともに、受入のための環境を整備し、移住・就労情報として広く情報発信することで、都市圏からの移住・定住を推進します。 ● 種子島への入込客は、29万人前後で推移しており横ばい状況が続く中、新型コロナウイルス感染症拡大により半減している状況です。種子島は、鉄砲伝来や甘藷初栽培の地、ポルトガルとの交流や古くからの移住者が多いなどの歴史や風土等も踏まえ、古き良き「ひと」や「もの」、「自然」等の種子島の価値観を生かした交流推進策やアジア圏におけるインバウンド⁷への交流推進策に努めていきます。 ● ニューツーリズム⁸を中心とした観光需要の把握とその結果に基づいた観光プロモーションの検討・実施、独自の豊かな自然と美しい景観とを生かしたウェルネスツーリズム⁹による観光振興を図ります。 ● 種子島の地域資源を生かして、日帰りなどの通過型観光の旅行者に「もう1泊したい」と思わせるような食や体験、宿泊といった地域の魅力の旅行商品化に取り組みます。併せて、新たな地域の魅力発掘にも取り組みます。 ● 旅行者の負担となる費用の負担軽減に努めます。 ● 高校卒業後の離島率の高さは、島内に大学や専門的な教育機関がないことが要因の一つとなっており、併せて、地域の人材育成の機会の喪失となっていることから、島外からの学生の確保も目指し、種子島の特色ある学科の設置など高等教育機関の設置や誘致について検討を進めます。 ● 地方創生の取組に関心の強い企業や個人による寄附（地方創生応援税制）や投資等での積極的な関与を促すことで、企業・個人との連携した取組を推進します。

⁶ インターンシップ…学生が興味のある企業などで実際に働いたり、訪問したりする職業体験のこと

⁷ インバウンド…外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行という

⁸ ニューツーリズム…テーマ性が強く、体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行

⁹ ウェルネスツーリズム…旅先でのスパ、ヨガ、瞑想、フィットネス、ヘルシー食、レクリエーション、交流などを通じて、美容、食事等の健康プログラムを提供する新しい旅行形態

	<ul style="list-style-type: none"> ●複数地域での居住・就業も含めて、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口¹⁰」の創出・拡大に取り組みます。 ●地域社会で必要とされる公共施設の再編と遊休施設、空き店舗、空き家などの地域資源を、企業、住民等が時間・空間で共用化できないか検討し、既存ストックの徹底活用を進めます。また、古民家などの埋もれた地域資源について、価値の再発見や付加価値の付与による活用を図ります。 ●2023年かごしま国体が開催されることを契機に、体育・スポーツ施設を地域資源と捉え、まちづくりや地域経済活性化の核とする取組を推進します。 	
関連する施策	7.地域力の向上	17.芸術文化・文化財保護の充実
	8.農業の振興	18.社会体育の充実
	11.商工業の振興	23.財産の有効活用
	12.観光・交流の振興	25.計画的で効率的な行政運営の推進
	13.新たな産業基盤と雇用環境の整備	—

¹⁰ 関係人口…地域と多様に関わる人々のこと

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる		
基本的方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●結婚を望む人たちの意向を反映した、出会いの場の創出に取り組みます。 ●結婚後の女性の働く機会や場を確保する上でも、安心して出産できる環境や子育て環境の整備を推進します。 ●社会全体で子どもを見守る仕組みや地域づくりを推進し、子どもたちがいつまでも郷土に対する愛着と誇りを持つことができるような取組を行います。 ●島内に大学や専門的な教育機関がないことから、高等教育機関の活用について調査をし、外部の教育機関や関連企業等と連携の上、専門的知見に触れる機会や場を創出するとともに、協働・連携の上、地域づくりに生かし、特色ある教育環境を整えます。 ●福祉や医療などの専門分野における担い手不足が顕著化しているため、専門職のU・Iターン者¹¹の定住に取り組みます。また、資金援助や域外の専門家による教育など教育環境を充実させることで、個々のスキルアップの機会を創出する取組を推進します。 ●年齢や障がいの有無等を問わず、能力を生かしてコミュニティの中で活躍できる働き方の確立など、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合うコミュニティづくりに向けた取組を推進します。 	
関連する施策	14.子ども・子育て支援の充実	19.健康づくりの推進
	15.学校教育の充実	25.計画的で効率的な行政運営の推進
	16.社会教育の充実	—

¹¹ U・Iターン者…「Uターン者」とは、一度生まれ育った場所以外で生活したのちに、再び出身地に戻って生活すること。「Iターン者」とは、生まれ育った場所で生活したあと、出身地以外の場所に移住して生活すること

4 ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる		
基本的方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ひと」や「もの」の動きを創ることによる経済活性化を基本的な考え方とし、種子島の玄関口である西之表港周辺の中心市街地において、多くの観光客や市民が交流できる機会や場を創設し、周辺部への回遊施策の充実によるにぎわい創出を図ります。 ● 離島の中の人口偏在や経済格差に対応するため、大字地区における資源や人材の活用による交流推進策及び将来的に持続可能なコミュニティのあり方について、集落独自の文化を生かしつつ、研究及び対策を講じていきます。 ● 地域を支える人材も高齢化に伴い不足する傾向にあり、集落の環境美化及び防災への影響や集落自体の存続の危機にまで及ぶおそれがあることから、時代潮流を見据えた対策を講じていきます。 ● ひとの流れを呼ぶ重要な要素として交通体系の整備があげられており、離島航空路や航路及び島内交通の安定確保並びに利便性向上に向けた取組を近隣自治体と連携の上、推進します。 ● 大学や企業等との連携により、Society5.0¹²の実現に向けた技術（未来技術）を「まち」「ひと」「しごと」の各分野に活用して具体的な課題解決や地域の発展を目指す地域の取組を支援します。 	
関連する施策	2.公共交通の充実	15.学校教育の充実
	7.地域力の向上	17.芸術文化・文化財保護の充実
	8.農業の振興	20.地域包括ケアの推進
	9.林業の振興	21.地域福祉の充実
	10.水産業の振興	25.計画的で効率的な行政運営の推進
	11.商工業の振興	—

¹² Society5.0…サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させることにより、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会課題の解決を両立し、人々が快適で活気に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会

(2) 重点プロジェクトと基本計画の連携図

重点プロジェクトである西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略と第6次長期振興計画基本計画の施策ごとの連携については、次の図のとおりです。

西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）

